

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE-埼玉県2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	狭山新築計画	階数	地上3F
建設地	埼玉県狭山市上広瀬1220-1	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年7月30日
敷地面積	10,639 m ²	作成者	石山稔記
建築面積	2,439 m ²	確認日	2019年8月1日
延床面積	7,312 m ²	確認者	石山稔記



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 0 (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 46 (kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: #DIV/0!

④上記+: #DIV/0!

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 1.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.5

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
外観には落ち着きのある色を採用し、周囲の街並みに調和するように努めました。	特になし	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
特になし	特になし	特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
特になし	躯体と仕上げが容易に分別しやすく、解体時にリサイクルしやすい設計としました。	適切な駐車台数を確保し、交通渋滞に配慮した車両出入口を計画している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
狭山新築計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								1.8	
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 室温									
2 外皮性能									
3 ゾーン別制御性									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 昼光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御						3.0			
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御									
Q2 サービス性能					0.43			2.7	
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観						3.0			
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
1.3 維持管理									
1 維持管理に配慮した設計									
2 維持管理用機能の確保									
2 耐用性・信頼性				2.7	0.50			2.7	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				2.6	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.40				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.40				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.20				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	-				
2.4 信頼性				2.2	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				1.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備				1.0	0.20				

3 対応性・更新性			2.7	0.50	-	-	2.7
3.1 空間のゆとり			2.2	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			1.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.1以上0.3未満		4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			-	-	-	-	
2 給排水管の更新性			-	-	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.33	-	-	
4 通信配線の更新性			-	-	-	-	
5 設備機器の更新性			-	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.67	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	1.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.6
LR1 エネルギー			-	-	-	-	-
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 対象外		-	-	-	-	-
4 効率的運用			-	-	-	-	-
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.50	-	-	2.8
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.22	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-		1.0	0.22	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げが容易に分別しやすく、解体時にリサイクルしやすい。		4.0	0.22	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	1.00	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			-	-	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			-	-	-	-	-
3 冷媒			-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.50	-	-	2.5
1 地球温暖化への配慮			-	-	-	-	-
2 地域環境への配慮			2.3	0.50	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用していない		5.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.3	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.33	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制			3.0	0.33	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮			2.7	0.50	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1 騒音			3.0	1.00	-	-	-
2 振動			-	-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-

CASBEE埼玉県 重点項目シート






■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	狭山新築計画	BEE	0.3	BEEランク	★
------	--------	-----	-----	--------	---

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
0.0	+	1.0	=	1.0 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	0.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	0.0
<配慮した内容を記述> 特になし			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	1.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	1.0
<配慮した内容を記述> 特になし			

: 入力欄